

すべての会員（ちば通研）のみなさんに**お願い**です

地域班で協力しながら、全ての会員に周知してください。  
地域班に所属していない会員のみなさんもお協力ください。  
ご不明点はメールまたはFAXでお尋ねください。


いざ！というときも、  
仲間の無事をお互いに思いやるために、  
全ての会員を対象に、  
2023年度内に**安否確認訓練**を行います。



そのために、事前の準備、練習をお願いします。  
災害時の安否確認について意見をお寄せください。

会員それぞれが、安否確認入力フォームから、安否をお知らせください。

#### ●安否確認入力フォームを開く方法

|  |   |
|--|---|
| <p>① QRコードをカメラ機能<br/>またはアプリで読み取る<br/>【スマートフォン】</p>  | <p>② URLをクリック<br/>または入力する<br/>【スマートフォン・パソコン】</p> <p><a href="https://forms.office.com/r/5bav1TCt53">https://forms.office.com/r/5bav1TCt53</a></p> <p>●安否確認フォームを開くことができない場合に<br/>限り、以下の方法で安否のご連絡をください</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・メール <a href="mailto:syuwa@nifty.com">syuwa@nifty.com</a></li><li>・FAX 043-247-1201</li><li>・郵送 〒260-0022 千葉市中央区神明町62 小川ビル2階<br/>千葉県手話通訳問題研究会<br/>深夜・早朝のFAX・電話は避けてください</li></ul> |
|--|---|

●すぐに安否確認フォームを開くことができるように、スマートホンの画面上に  
アイコンを表示するよう、勧めています。（3ページ目参照）

#### ●安否確認フォームへの入力の練習をしてください。



- ▶ 11月末まで、何度でも入力してください。
- ▶ 練習では、個人情報に当たる内容も含め、ウソの情報でかまいません。
- ▶ 選択肢もその都度いろいろ選んで入力してみましょう。  
答えにより次の質問が変わる場合があります。
- ▶ 設問の「その他、ご要望、意見、メッセージなどなんでも」の欄に  
安否確認フォームの内容や災害時の対応などについて、たくさんの意見を  
入力してください。

## ●地域班で意見を集約してください。

- ▶ 地域班の集まりや連絡で、安否確認フォームを全員が入力して送信することができるように全員に周知してください。
- ▶ 地域班で意見をとりまとめて、組織部MLに意見を送ってください。  
締切り：11月15日(水)  
複数の意見の併記でもかまいません。

- ▶ 意見の内容は、安否確認や災害時の対応に関することなら何でもかまいません。

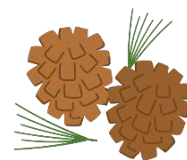
例えば



- ・安否確認フォームの内容・設問項目や使い勝手
- ・安否確認の手段について別の方法の提案
- ・安否確認情報の活用方法・共有方法やその基準・ルール
- ・地域班内での安否確認と、ちば通研としての安否確認の併用について
- ・安否確認をする意味(理由)は何か？ 必要があるのか？
- ・安否確認をするか否かの判断基準(地震の震度、大雨・土砂災害など)
- ・情報管理の方法
- ・その他、なんでも気づいたことや疑問点を挙げてください。

## ■今後の予定

- ① 地域班・会員からの意見を、役員会等で協議します。
- ② 12月3日：地域班会議提案・意見交換  
→地域班会議後の役員会で再度協議、確認します。
- ③ 2023年度内に安否確認訓練を実施します。



## ■9月10日の地域班会議での質疑から

- フォームを利用した安否確認を提案した理由  
災害時により簡易に安否確認の報告ができるように検討した結果、  
だれでもスマートフォンからすぐに入力できる方法として提案した。
- 提案の安否確認フォームの利用は、ちば通研会員全員と、  
地域班会議・学習会でふだん顔を合わせている読者会員（ろう者）まで。  
(現在はまだ協会と安否確認についての協議ができていないため)
- 地域班→ちば通研(組織部)への報告についてはこれまで通り継続する方向で  
検討しているが、会員の意見を聴いて判断したい。
  - ・地域班用のフォームも作成した。
  - ・現在の基準は、震度5強以下では地域班のみ、  
震度6以上は個人がメール等でちば通研に報告となっている。
  - ・災害時には、連絡手段が限られる可能性があり、  
複数の手段を確保しておくためにも、また双方向で情報共有する  
手段としても、どちらかに限定しないほうがいいのではないかと
- 安否確認後の結果の活用や、助けを必要としている方への対応や訓練は？
  - ・現在は、まず地域で仲間の安否をお互いに気遣い助け合う気持ちを  
大切に、安否確認自体を目的にしている。
  - ・これまでにいった安否確認では集計結果を地域班と共有してきた。
  - ・大規模災害では広域的な対応が必要になるため、  
情報の活用や救助について、関東通研や全通研での検討も踏まえて  
災害救助の方法や実際について協議していく。
- 当面の災害(予想)時の安否確認について  
フォームによる安否確認訓練を行うまでは従来通りの方法で行う。

## 安否確認フォーム ホーム画面への追加の仕方（個人用）

2023年10月 ちば通研組織部

安否確認フォーム 個人用 : <https://forms.office.com/r/5bav1TCt53>

### iPhone の場合

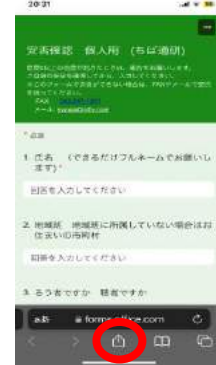
1. カメラアプリでQRコードを読み取る。



2. リンク(URL)をクリックする。



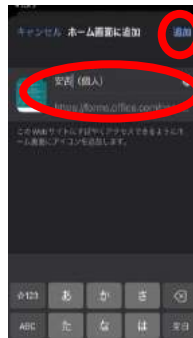
3. ブラウザ(safari)で WEB ページを開いた状態で下部のアイコンをタップ。



4. 出てきたメニュー内の「ホーム画面に追加」をタップ。



5. 画面右上の「追加」をタップ。  
※アイコンになる画像と、タイトルが出てくるので、「ちば通研 安否確認」などと編集可能。



### Android の場合

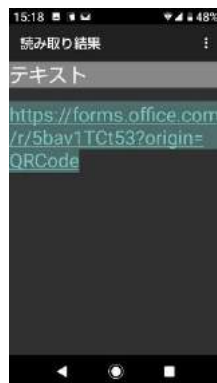
Android の場合、いくつか方法がありますが、ほとんどの機種で対応できる手順を紹介します。

※機種によっては、ホーム画面に追加したいページを開き、端末のメニューボタン(液晶画面の外にある)から直接追加できるものがあります。(ギャラクシーなど)

1. カメラアプリでQRコードを読み取る。



2. リンク(URL)をクリックする。



3. 標準ブラウザで WEB ページを開き、右上の「…」をタップ。



4. 「ホーム画面に追加」をタップ。

※機種によっては「ショートカットをホーム画面に追加」と出てくる。

